



# 阿部次郎と法文学部

土門拳撮影 | 阿部次郎記念館所蔵



会期 2022 | 9.29<sub>木</sub> → 12.23<sub>金</sub> 【開館時間】 10:00-17:00

入場無料

(土日祝は 16:30 まで)

会場 東北大学史料館 2階展示室 (ご来館の際は公共交通機関をご利用ください)

【展示内容】

- ❖ 阿部次郎展 生家と一族 | 漱石との出会い | 『三太郎の日記』の刊行 | 東北帝国大学への赴任 | 『徳川時代の芸術と社会』 | 学生との交流、など
- ❖ 法文学部展 法文学部の創設 | 法文学部から文系4学部へ | 伝統から未来へ

【主催】

東北大学大学院文学研究科 東北大学史料館

【問合わせ】 東北大学史料館 〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1 TEL 022-217-5040

E-mail desk-tua@grp.tohoku.ac.jp Web http://www2.archives.tohoku.ac.jp/

史料館の最新情報



文学部創立百周年

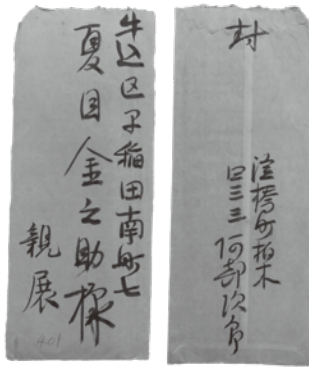


# 阿部次郎の生涯と新公開資料

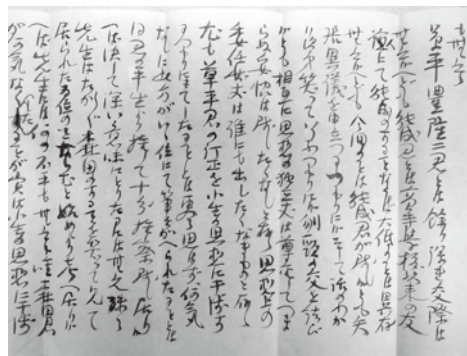
今回の展示では、阿部次郎記念館が所蔵していた書簡を新たに公開します。父から次郎への手紙や、長女和子から次郎への手紙も展示します。また、次郎が東京大学で出会い師と仰いだ漱石や、その門下生たちとの交流が窺える手紙も見つかりました。次郎の名を広めた『三太郎の日記』に関わる手紙も含まれます。次郎が東北大学に赴任する転機となった法文学部長からの面会希望や、今まで注目されることが少ない学生たちとの交流を示す手紙も、いくつか展示いたします。書簡の他にも、次郎の代表作である『徳川時代の芸術と社会』に関する解説や、次郎逝去後に東北大学文学部に寄贈された研究所の関係資料などもご覧いただき、阿部次郎を全体的に把握できる展示を目指しています。



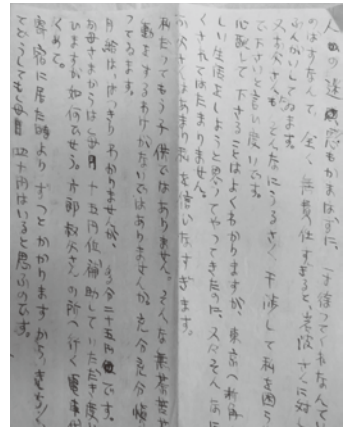
阿部日本文化研究所(1963年)(現在の阿部次郎記念館)



夏目漱石あて封筒



漱石あて手紙から



和子手紙から

阿部次郎記念館新規資料及び法文学部開設関係資料公開展示

# 阿部次郎と法文学部



大年寺山のイチゴ園における法文学部経済科学生

創設時、選択履修の範囲を広げ、今でいう学際的な教育を目指した法文学部も、昭和に入る頃から専門性を重視したカリキュラムに移っていきました。大正デモクラシーの時代から、社会主義が弾圧される事件が目立つようになり、やがて戦争の影響が工場動員や文科系学生の学徒出陣などの形で及ぶなど、波乱に満ちた時代を法文学部の教員と学生は体験しました。戦後には法文学部から現在の文教法経4学部が分化し、文系出身の総長も登場しました。さらに川内キャンパスへの移転を経て、現在は伝統を踏まえた新たな方向性が模索されています。さまざまな記録などを通じて、27年間の法文学部のあゆみと、現在への影響などについて、考える機会になれば幸いです。



## 東北大学史料館

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2-1-1  
TEL. 022-217-5040  
[E-mail] desk-tua@grp.tohoku.ac.jp  
[Web] <http://www2.archives.tohoku.ac.jp/>



東北帝国大学法文学部・正門



法文学部卒業生と阿部次郎



法文学部勤労動員学生の記念撮影



戦後の講義風景(法文大講義室)



三太郎の小径

# 法文学部から文系各学部へ